



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月2日

上場会社名 荒川化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4968 URL <http://www.arakawachem.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷奥 勝三
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 宮下 泰知 (TEL) 06-6209-8500
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	19,838	4.4	1,629	15.2	1,712	25.8	1,119	19.4
29年3月期第1四半期	19,000	△1.7	1,414	92.5	1,361	73.0	937	88.7

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 1,421百万円(300.0%) 29年3月期第1四半期 355百万円(174.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	54.23	—
29年3月期第1四半期	45.66	45.63

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	84,058	52,370	60.4
29年3月期	83,898	51,557	59.5

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 50,770百万円 29年3月期 49,915百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	16.00	—	22.00	38.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	19.00	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当15円00銭 創業140周年記念配当1円00銭

29年3月期期末配当金の内訳 普通配当21円00銭 創業140周年記念配当1円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	38,500	1.5	2,400	△6.0	2,500	0.9	1,700	△0.4	82.37
通期	78,000	0.8	4,750	△6.8	4,900	△7.8	3,200	△6.3	155.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	20,652,400株	29年3月期	20,652,400株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年3月期1Q	13,010株	29年3月期	13,010株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	20,639,390株	29年3月期1Q	20,525,784株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、緩やかに回復しましたが、米国の政策や中国を始めとするアジア新興国等の動向など、依然として先行きは不透明な状況にあります。一方、国内経済は、輸出、生産の持ち直しを背景に緩やかな回復基調で推移しました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、2016年度よりスタートしました第4次中期5ヵ年経営計画の方針（事業の新陳代謝や真のグローバル化など）に沿った重点施策を進め、事業拡大や事業開発の促進に注力してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は198億38百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益は16億29百万円（同15.2%増）、経常利益は17億12百万円（同25.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億19百万円（同19.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、セグメント区分の売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおりません。

<製紙薬品事業>

国内製紙業界は、印刷・情報用紙の需要が低迷する中、段ボール原紙など板紙の生産が堅調に推移しました。このような環境のもと、当事業におきましては、板紙向け紙力増強剤の需要が増加しましたが、原材料価格の上昇による収益性の悪化もあり、売上高は48億98百万円（前年同期比10.9%増）、セグメント利益は3億40百万円（同1.0%減）となりました。

<コーティング事業>

印刷インキ業界は、出版・広告分野では市場の縮小が続いております。このような環境のもと、当事業におきましては、印刷インキ用樹脂は、海外で食品包装用が堅調に推移したものの、国内では、出版用などが減少しました。一方、機能性コーティング材料用の光硬化型樹脂は販売が堅調に推移しました。

その結果、売上高は47億40百万円（前年同期比1.5%増）、セグメント利益は3億49百万円（同42.0%増）となりました。

<粘接着事業>

粘着・接着剤業界は、世界的に紙おむつ向け接着剤の需要が増加しております。このような環境のもと、当事業におきましては、水素化石油樹脂の販売が好調に推移するとともに、アジア地域を中心にロジン系の粘着・接着剤用樹脂の販売が堅調に推移しました。

その結果、売上高は69億94百万円（前年同期比4.1%増）、セグメント利益は8億53百万円（同28.9%増）となりました。

<機能性材料事業>

電子工業業界は、スマートフォンや自動車分野などで高機能デバイスの需要が堅調に推移しました。このような環境のもと、当事業におきましては、電子材料用配合製品の回復や精密部品洗浄剤および精密研磨剤の好調により、売上高は31億31百万円（前年同期比0.4%増）、セグメント利益は1億49百万円（前年同期比27.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1億60百万円増加し、840億58百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が2億72百万円、受取手形及び売掛金が4億53百万円、有形固定資産が4億34百万円減少した一方、たな卸資産が6億46百万円、投資有価証券が5億63百万円増加したことによります。

負債は、支払手形及び買掛金が1億円、賞与引当金が6億58百万円、長期借入金が1億80百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ6億52百万円減少し、316億88百万円となりました。

純資産は、利益剰余金などが増加したことにより、前連結会計年度末に比べ8億13百万円増加し、523億70百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、平成29年5月8日に公表しました業績予想に修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,212	9,939
受取手形及び売掛金	25,939	25,486
電子記録債権	1,161	1,365
商品及び製品	7,661	7,969
仕掛品	998	1,116
原材料及び貯蔵品	6,359	6,579
繰延税金資産	668	415
その他	956	1,107
貸倒引当金	△153	△127
流動資産合計	53,804	53,853
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,766	7,682
機械装置及び運搬具（純額）	6,614	6,278
土地	5,190	5,190
建設仮勘定	163	125
その他（純額）	465	488
有形固定資産合計	20,199	19,765
無形固定資産		
のれん	1,107	1,035
その他	374	368
無形固定資産合計	1,481	1,404
投資その他の資産		
投資有価証券	7,430	7,994
退職給付に係る資産	386	457
繰延税金資産	159	151
その他	521	515
貸倒引当金	△85	△83
投資その他の資産合計	8,413	9,036
固定資産合計	30,094	30,205
資産合計	83,898	84,058

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,967	9,867
短期借入金	7,957	7,980
未払法人税等	880	531
未払消費税等	179	173
繰延税金負債	45	45
賞与引当金	1,276	617
役員賞与引当金	80	24
修繕引当金	80	145
設備関係支払手形	63	105
その他	3,929	4,299
流動負債合計	24,459	23,788
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	343	163
繰延税金負債	1,695	1,885
退職給付に係る負債	335	336
資産除去債務	212	210
その他	295	303
固定負債合計	7,881	7,899
負債合計	32,340	31,688
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,343	3,343
資本剰余金	3,564	3,564
利益剰余金	38,802	39,468
自己株式	△12	△12
株主資本合計	45,697	46,362
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,904	3,291
為替換算調整勘定	1,026	837
退職給付に係る調整累計額	286	278
その他の包括利益累計額合計	4,218	4,407
非支配株主持分	1,641	1,600
純資産合計	51,557	52,370
負債純資産合計	83,898	84,058

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	19,000	19,838
売上原価	14,417	14,944
売上総利益	4,582	4,893
販売費及び一般管理費	3,168	3,263
営業利益	1,414	1,629
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	57	60
不動産賃貸料	31	28
その他	38	52
営業外収益合計	130	143
営業外費用		
支払利息	50	40
為替差損	101	5
その他	32	16
営業外費用合計	184	61
経常利益	1,361	1,712
特別利益		
固定資産売却益	0	-
新株予約権戻入益	13	-
特別利益合計	14	-
特別損失		
固定資産除売却損	12	1
特別損失合計	12	1
税金等調整前四半期純利益	1,363	1,710
法人税、住民税及び事業税	158	214
法人税等調整額	191	280
法人税等合計	350	495
四半期純利益	1,012	1,214
非支配株主に帰属する四半期純利益	75	95
親会社株主に帰属する四半期純利益	937	1,119

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	1,012	1,214
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△59	386
為替換算調整勘定	△598	△171
退職給付に係る調整額	0	△8
その他の包括利益合計	△657	206
四半期包括利益	355	1,421
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	366	1,308
非支配株主に係る四半期包括利益	△11	112

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を繰り延べて処理する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	製紙薬品	コーティング	粘接着	機能性材料	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,418	4,669	6,719	3,117	18,925	74	19,000
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	53	53	16	69
計	4,418	4,669	6,719	3,170	18,979	90	19,069
セグメント利益	343	246	661	116	1,368	5	1,374

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産仲介等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,368
「その他」の区分の利益	5
全社費用の配賦差額(注)1	142
コーポレート研究開発費用(注)2	△79
営業外損益(注)3	△22
四半期連結損益計算書の営業利益	1,414

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 コーポレート研究開発費用は、中長期での成長の源泉となる、セグメントに配賦しない新規研究開発費用であります。

3 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	製紙薬品	コーティング	粘接着	機能性材料	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,898	4,740	6,994	3,131	19,765	72	19,838
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	6	6
計	4,898	4,740	6,994	3,131	19,765	79	19,844
セグメント利益	340	349	853	149	1,692	7	1,700

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産仲介等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,692
「その他」の区分の利益	7
全社費用の配賦差額(注)1	65
コーポレート研究開発費用(注)2	△91
営業外損益(注)3	△44
四半期連結損益計算書の営業利益	1,629

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 コーポレート研究開発費用は、中長期での成長の源泉となる、セグメントに配賦しない新規研究開発費用であります。

3 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。